

2022 春季生活闘争・妥結情報

2022. 7. 15 — 第 15 号 — 連合北海道 春季生活闘争本部

2022 年春季生活闘争 第 7 回回答集計結果について

連合本部は、2022 年春季生活闘争につき、7 月 1 日（金）午前 10 時時点で取りまとめた回答集計（最終回）について、次のとおり発表した。

- 月例賃金改善（定昇維持含む）を要求した 5,361 組合中 5,071 組合が妥結済み（94.5%）。うち賃金改善分獲得が明らかな組合は 2,021 組合（39.9%）で、組合数は 2018 闘争（2,010 組合）を超え、割合は 2014 闘争（40.4%）に次いで高い。
- 平均賃金方式で回答を引き出した 4,944 組合の「定昇相当込み賃上げ計」は加重平均で 6,004 円・2.07%（昨年同時期比 824 円増・0.29 ポイント増）、うち 300 人未満の中小組合 3,596 組合は 4,843 円・1.96%（同 555 円増・0.23 ポイント増）となった。賃上げ分が明確に分かる 2,213 組合の「賃上げ分」は 1,864 円・0.63%、うち中小組合 1,376 組合は 1,772 円・0.72% となり、前回集計の水準を上回るとともに、すべての規模区分で昨年同時期比プラスになっている。中小組合は額・率とも第 7 回回答集計時点においてもなお、賃上げ分の集計を開始した 2015 闘争以降で最も高く、中小組合の健闘ぶりを示している。
- 有期・短時間・契約等労働者の賃上げ額は、加重平均で、時給 23.43 円（同 3.52 円増）・月給 3,997 円（同 330 円増）である。引上げ率は概算でそれぞれ 2.29%・1.85% となり、時給は一般組合員（平均賃金方式）を上回っている。

連合北海道が 7 月 15 日（金）午前 10 時時点で取りまとめた回答集計は、以下の通り。

- エントリー組合は 203 から 211 に増え、そのうち 175 組合（昨年同時期と同数）が妥結した。集計可能組合は 157 組合となり、昨年の同時期と同数であった。
- 集計可能組合の 157 組合 44,708 人における妥結額（加重平均）は、5,255 円（定昇・ベア込み）、妥結率は 2.00% となった。
- 300 人未満を中小組合 124 組合では、加重平均 4,663 円・2.05%（昨年同時期比 825 円増・0.41 ポイント増）となり、引上げ率では全体の 2.00% を超えた。

【組合規模別賃上げ状況 2022年7月15日 連合北海道集計】

組合規模	集計組合数	対象組合人数	加重平均 妥結額 (定昇・ベア込み)	*昨年実績額 (定昇・ベア込み)	*昨年比
～99 人	67	2,940 人	4,027 円(1.76%)	3,641 円(1.64%)	386 円(0.12%)
100～299 人	57	9,543 人	4,877 円(2.14%)	3,925 円(1.64%)	952 円(0.50%)
300 人未満計	124	12,483 人	4,663 円(2.05%)	3,838 円(1.64%)	825 円(0.41%)
300～999 人	26	12,703 人	4,425 円(1.78%)	4,135 円(1.61%)	290 円(0.17%)
1,000 人～	7	19,522 人	6,047 円(2.08%)	6,708 円(2.32%)	-661 円(-0.24%)
300 人以上計	33	32,225 人	5,471 円(1.98%)	5,804 円(2.08%)	-333 円(-0.10%)
計	157	44,708 人	5,255 円(2.00%)	5,214 円(1.96%)	41 円(0.04%)

◎2022 年春季生活闘争の北海道集計は 8 月まで行っておりますので、要求・回答・妥結情報を連合北海道 2022 年春季生活闘争本部までお知らせ下さい。(Fax:011-272-2255)